

2012年10月10日

各位

東燃ゼネラル石油株式会社

問合せ先:

EMG マーケティング合同会社 広報渉外本部

TEL:03-6713-4400

## 2012年度 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞 受賞者決定のお知らせ

東燃ゼネラルグループは、2012年度東燃ゼネラル児童文化賞及び音楽賞(以下「当賞」)の受賞者を次の通り決定しましたので、お知らせいたします。受賞者にはそれぞれトロフィーと副賞賞金 200万円が贈られます。

なお、当賞はこれまでエクソンモービル児童文化賞・音楽賞であったものを2012年6月における東燃ゼネラルグループの発足に合わせて、名称を『東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞』へ変更いたしました。当賞が持つ歴史的な価値と社会的な意義は不変のものとして継承してまいります。

2012年は初の試みとして、11月29日(木)にサントリーホールにて行われる当賞の贈賞式と記念公演・演奏会へ、観覧をご希望される方100名を抽選にてご招待いたします。詳細については、当グループホームページ(<http://www.tonengeneral.co.jp>)をご覧ください。

<敬称略>

### 第47回 東燃ゼネラル児童文化賞 受賞者

加古 里子 (かこ さとし)

児童問題研究家

### 第42回 東燃ゼネラル音楽賞 受賞者

邦楽部門

清元 美治郎 (きよもと よしじろう)

清元 三味線方

洋楽部門 本賞

舘野 泉 (たての いずみ)

ピアノ

洋楽部門 奨励賞

山崎 伸子 (やまざき のぶこ)

チェロ

私たち東燃ゼネラルグループは、企業も社会を構成する市民の一員であり、社会に役立つ活動を続けていくことは企業の大切な責任のひとつであると考えています。

この理念に基づき、1966年にモービル児童文化賞、1971年にモービル音楽賞として創設された当賞は、2001年にエクソンモービル児童文化賞・音楽賞として継承され、さらに2012年6月における私たち東燃ゼネラルグループの発足に伴い、名称を東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞と改めた上、新たな一步を踏み出すこととなりました。

新たな名称となっても、私たちはこの賞の持つ『一時の流行に惑わされることのない選考を通して、わが国の児童文化、音楽文化の発展、向上に尽くしてこられ、今後それぞれの分野の将来を担われる方々をたたえ励ましたい』という意義を大切に継承してまいります。私たちは、この賞を通じて人々が感動し笑顔になれ、子供達の明るい未来に繋がるような社会・文化貢献を進めていきたいと考えております。

以上

添付 1: 贈賞理由及び受賞者のプロフィール

添付 2: 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞の概要

添付 3: 歴代受賞者リスト

#### 東燃ゼネラルグループについて

東燃ゼネラルグループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心に、EMGマーケティング合同会社、東燃化学合同会社を含む複数の子会社・関連会社で構成されています。当グループは、1893年より日本で石油製品を扱ってきました。現在は安全や環境に配慮しながら、原油の輸送、精製・生産、物流、販売のサプライチェーン全般を担っています。そして今後も安定的にエネルギーを供給し、日本を未来へと動かすエネルギーカンパニーになることを目指しています。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。[www.tonengeneral.co.jp](http://www.tonengeneral.co.jp)

## 1. 第 47 回 東燃ゼネラル児童文化賞

### 加古 里子 (かこ さとし)

児童問題研究家

加古総合研究所  
〒251-0033 神奈川県藤沢市片瀬山 5-22-4  
Tel: 0466-22-7170

#### ◆ 贈賞理由 ◆

加古里子氏は、子どもの言葉や遊びに対する鋭い観察力と、伝統的な子どもの文化や日常生活に関する深い洞察力を持つ著作者として、戦後の幼児と児童を対象とした図書の発展に多大な貢献をされた。とりわけ科学分野における著作では、独特の語りかけるような文体と、子どもの興味や共感を引き出す挿絵・図版を駆使することにより、子どもの読書への好奇心を導き出すことに成功している。その結果、子どもの読書に対する導き手として、さらに子どもの生きる力を育てるという面で、大きな活躍をされた。氏の著作が子どもに与える影響力の大きさは、広く海外にも知られている。「日本の児童書が持つ独自の表現形態と魅力を海外の読者にも認知させた」という面での業績も大きい。

(児童文化賞 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

1926 年福井県生まれ。東京大学工学部応用化学科卒。1948 年化学会社研究所に勤務、傍らセツルメント活動、児童文化運動に参加、工学博士・技術士。1973 年退職後、出版放送分野に関与すると共に、東京大学、横浜国立大学などで児童文化と児童行動論の講師をつとめ、1983 年以後障がい児福祉活動の一環として「ふれあい紙芝居」66 点、大型絵本 23 点の製作と全国施設への配布に協力している。またラオス、ベトナム、オマーン、中国などで識字活動、障がい児教育、科学教育の実践指導を行い、アメリカ、カナダ、台湾の現地補習校、幼稚園、日本人会で幼児教育、児童指導について講演実施を行った。以上現在に至る間の著作出版物の総計は、童話集、絵本など 563 点、紙芝居、幻灯、脚本など(前記福祉関係を除く)98 点、一般著書(共著、小冊子を含む)62 点。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

1963 年	第 10 回サンケイ児童出版文化賞大賞
1975 年	第 23 回エッセイストクラブ賞
1990 年	土木学会著作賞
2008 年	第 56 回菊池寛賞
2009 年	日本化学会特別功労賞
2009 年	第 58 回神奈川文化賞
2011 年	越前市文化功労賞

## 2. 第 42 回 東燃ゼネラル音楽賞 邦楽部門

### 清元 美治郎 (きよもと よしじろう)

清元 三味線方

#### ◆ 贈賞理由 ◆

清元美治郎氏は清元節の代表的な三味線方で、歌舞伎や舞踊の公演に欠かせない清元節の演奏において、中心的な役割を果たしている音楽家である。その音楽の基礎には、戦前から平成の初めまで活躍した清元寿国太夫から学んだ古典的な演奏様式がある。清元美治郎氏は、その基礎をもとに、優れた独自の音色と柔軟な音楽性を身につけ、現在では清元節の演奏を導く役割を果たしている。また、古典的な作品の復元と新しい作品の創作にも力を発揮し、さらに、他のジャンルの音楽家との共同作業も積極的に行うなど、現代の邦楽界で大きな責任を果たしている。なお、荻江節においても、荻江露延の名前で三味線方として活躍している。

(音楽賞邦楽部門 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

1945 年大阪生まれ。1964 年上京し清元寿国太夫師に入門。後に清元一寿郎師にも師事。1965 年清元美治郎の名を許される。同年「清元精調会」にて初舞台。1968 年 NHK 邦楽技能者育成会第 13 期終了。同年三世今藤長十郎師、常磐津英寿師、清元梅吉師他主宰の「創作邦楽研究会」に参加。1973 年荻江露延の名を許され、荻江節の三味線方を兼ねる。1979 年市川猿之助公演で、初めて歌舞伎での立三味線。1983 年より国立劇場養成課の講師を務める。1985 年邦楽邦舞 10 人の同人による、奏舞「くるまざ」を結成。2001 年 NHK「芸能花舞台」のテーマ音楽作曲(01 年度～06 年度使用)同年国立劇場主催公演「新しい伝統芸能・悪の美学」にて、委嘱作品「螢沢」作曲。2012 年国立劇場主催公演「掛合の美」にて、「三重霞嬉敷顔鳥」の清元部分複曲。現在、歌舞伎公演、国立劇場主催公演、日本舞踊協会公演をはじめ、各流派の舞踏会及び、リサイタル等に出演する一方、後進の指導、育成に力を入れる。清元協会理事。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 1990 年 | 第 3 回国立劇場清栄会奨励賞                |
| 1999 年 | 第 3 回ビクター財団賞奨励賞(現・日本伝統文化振興財団賞) |
| 2003 年 | 第 24 回松尾芸能賞邦楽優秀賞               |

### 3. 第 42 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門本賞

#### 舘野 泉 (たての いずみ) ピアノ

株式会社ジャパン・アーツ気付  
〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6  
Tel: 03-3499-8091/ Fax: 03-3499-8092  
<http://www.japanarts.co.jp/>  
<http://www.izumi-tateno.com>

#### ◆ 贈賞理由 ◆

20代後半からフィンランドを本拠に国際的な演奏活動を続け、分野領域には捉われず、常に新鮮な視点で演奏芸術の視野を拡大してきた。2002年、脳溢血で倒れて右半身不随となったが、2004年には左手のピアニストとして演奏活動を再開。以降、内外での活動をとおして左手の音楽の表現領域を掘り下げ、多数の作曲家に新作を委嘱するなどレパートリー拡大にも尽力して独自のジャンルを切り開いてきた。左手を駆使するテクニックの鮮やかさは両手奏法に比べても決して遜色のないレベルに達し、美しい音色と豊かな詩情、激しい情念の表現などには、長年つちかってきた自身の音楽の集大成というべき深まりがある。そのたゆまぬ努力と不屈の精神力、音楽への熱い情熱は、人々に勇気と感動を与えてやまない。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

1936年東京生まれ。1960年東京藝術大学首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。演奏会は世界各地で3500回以上、リリースされたCD・LPは130枚にのぼる。1981年よりフィンランド政府の終身芸術家給与を得て演奏活動に専念。2002年脳出血により右半身不随となるが、不屈の精神で2004年「左手のピアニスト」として復帰。2006年左手作品の充実を図るため「舘野泉左手の文庫(募金)」を設立。その左手のために世界中から数多の作品が寄せられている。2010年演奏生活50周年を迎える。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」テーマ曲ソリスト。同年5月から左手ピアノ音楽の集大成「舘野泉フェスティバル～左手の音楽祭」と称し2年間で全16回のプロジェクトを始動。南相馬市民文化会館名誉館長、日本シベリウス協会会長、日本セヴラック協会顧問、サン＝フェリクス＝ロウラゲ(ラングドック)名誉市民。1989年よりフィンランド音楽祭、1998年よりオウルンサロ音楽祭音楽監督。著作、楽譜監修も多く手がける。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 1968年 | メシアン・コンクール第2位              |
| 1974年 | 第4回福山賞                     |
| 1976年 | フィンランド大統領より 獅子第一等騎士勲章      |
| 1996年 | 外務大臣表彰                     |
| 2006年 | フィンランド・シベリウス協会より シベリウス・メダル |
| 2008年 | 旭日小綬章                      |
| 2008年 | 文化庁長官表彰                    |

#### 4. 第 42 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門奨励賞

### 山崎 伸子 (やまざき のぶこ)

チェロ

KAJIMOTO 気付

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-6-25 河北ビル

Tel: 03-3574-0969 / Fax: 03-3574-0980

<http://www.kajimotomusic.com/>

#### ◆ 贈賞理由 ◆

山崎伸子氏は、我が国を代表するチェロ奏者であり、ソリストとして、室内楽奏者としてのキャリアはまさに目覚ましいものがある。それは日本に於ける足跡として広く知られると同時に、海外での評価も高く、その深い音楽性と温かな人間性を裏付けとする抒情的で、ドラマティックな演奏は多くの聴衆を魅了している。また、アルゲリッチのような世界的なピアニストたちからも、包容力あふれる表現者としての才能が絶賛されている。近年は、後進の指導においても注目すべき成果を挙げてきており、今や、日本の楽壇を支え、牽引していく重要な存在の一人である。今回の授賞はこうした長年の演奏活動と教育者としての実績に加えて、今後のさらなる活躍を祈念してのものである。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

広島県生まれ。桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部卒。齋藤秀雄、レイヌ・フラショー、堤剛、安田謙一郎、藤原真理各氏に師事。卒業後、文化庁海外派遣研修員としてジュネーブでピエール・フルニエ氏に師事。帰国後は国内の主要オーケストラ、イギリス室内管(サントリーホール・オープニングシリーズ)、スイス・ロマンド管、バンベルク響等と共演。カザルスホール・チェロ連続リサイタルや第一生命ホール・ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲シリーズに出演する等、室内楽の分野でも卓越した音楽性を発揮している。2007年より毎年、津田ホールでチェロ・ソナタ・シリーズ(全10回)を開催。これまで同公演のライブ録音を4枚リリースし、「チェロ・リサイタル 4」(共演:野平一郎)は第49回レコード・アカデミー賞<室内楽曲部門>に輝いている。現在、東京藝術大学教授。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 1974年 | 第1回民音室内楽コンクール第1位      |
| 1975年 | 第44回日本音楽コンクールチェロ部門第1位 |
| 1987年 | 村松賞                   |
| 1987年 | グローバル音楽賞第1回奨励賞        |
| 2011年 | 第49回レコード・アカデミー賞室内楽曲部門 |

## 東燃ゼネラル児童文化賞・東燃ゼネラル音楽賞 概要

東燃ゼネラル児童文化賞及び東燃ゼネラル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。毎年、児童文化賞、音楽賞邦楽部門、音楽賞洋楽部門本賞、音楽賞洋楽部門奨励賞の4賞につき、各々1個人または1団体が選ばれ、それぞれトロフィーと副賞賞金 200 万円が贈られます。

### 【東燃ゼネラル児童文化賞】

1966年に創設された児童文化賞は、今年で47回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

### 【東燃ゼネラル音楽賞】

1971年に創設された音楽賞は、今年で42回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに19人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点を置いた選考を行っている点がこの賞の特色です。

### 選考方法

児童文化界、音楽界の有識者の方々に受賞候補者の推薦を依頼し、その結果を参考にして、各部門3名の選考委員により構成される選考委員会において審議の上、受賞者を決定しました。

### 選考委員（敬称略、順不同）

#### 【児童文化賞】

松居 直	児童文学者
近藤 康弘	こども番組プロデューサー
野上 暁	児童文化研究家

#### 【音楽賞 邦楽部門】

榎本 由喜雄	邦楽評論家
徳丸 吉彦	お茶の水女子大学名誉教授、聖徳大学教授
山川 直治	日本音楽研究家

#### 【音楽賞 洋楽部門】

関根 礼子	音楽評論家
中村 孝義	大阪音楽大学理事長
諸石 幸生	音楽評論家

## 東燃ゼネラル児童文化賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1966	初山 滋* 日本童話会	童画家 会長・後藤 樽根*
2	1967	千葉省三* 人形劇団プーク	童話作家 代表・川尻泰司
3	1968	椋 鳩十* ダークダックス	児童文学者 コーラスグループ
4	1969	金沢嘉市* 市川市立養護学校の詩集「いずみ」	教育評論家
5	1970	眞理ヨシコ 戸塚 廉*	童謡歌手 「おやこ」新聞編集発行
6	1971	吉澤 章*	折り紙作家
7	1972	管野邦夫	仙台市野草園園長
8	1973	アン・ヘリング	児童文学研究者
9	1974	滝平二郎*	きり絵作家
10	1975	辻村ジュサブロー	人形作家
11	1976	富田博之* 劇団「風の子」	青少年文化研究者 代表・多田 徹
12	1977	坂本小九郎と湊中学校養護学級の生徒達	美術教育と版画制作
13	1978	佐野浅夫 瀬川康男*	俳優 絵本作家
14	1979	田沼武能	写真家
15	1980	渡辺茂男*	児童文学者
16	1981	ろばの会	作曲家グループ
17	1982	富山県立近代美術館	館長・小川正隆
18	1983	萩本欽一	TVタレント
19	1984	長崎県外海町	町長・平野武光
20	1985	東京放送児童合唱団	代表・近藤真司
21	1986	手で見るギャラリー・TOM	代表 村山亜土・村山治江
22	1987	ポニージャックス	コーラスグループ
23	1988	人形劇カーニバル飯田実行委員会	実行委員長・松澤太郎
24	1989	岡本忠成*	アニメーション作家
25	1990	与田準一*	童謡・童話作家
26	1991	今西祐行*	児童文学作家
27	1992	「中学生日記」	NHKテレビ番組
28	1993	松居 直	福音館書店会長
29	1994	香川県大川郡大内町	町長・中條弘矩
30	1995	「まんが日本昔ばなし」	テレビアニメ番組: 愛企画センター制作
31	1996	神沢利子	児童文学作家
32	1997	阪田寛夫*	詩人・作家
33	1998	細川真理子	「札幌こどもミュージカル」代表
34	1999	太田大八	絵本画家
35	2000	谷川俊太郎	詩人
36	2001	大原れいこ	テレビ演出家
37	2002	長 新太*	絵本作家
38	2003	山中 恒	児童文学作家
39	2004	越部信義	作曲家
40	2005	松谷みよ子	作家
41	2006	演劇集団 円 円・こどもステージ	児童劇
42	2007	佐藤さとる	児童文学作家
43	2008	今江祥智	児童文学作家
44	2009	神宮輝夫	児童文学研究者・翻訳家
45	2010	今森光彦	写真家
46	2011	河合雅雄	霊長類学者



## 東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	山口五郎*	琴古流尺八
2	1972	松崎倭佳* 稀音家幸*	長唄 三味線
3	1973	菊原初子*	地歌 箏曲
4	1974	田中伝左衛門*	歌舞伎 長唄囃子
5	1975	杵屋正邦*	現代邦楽作曲
6	1976	観世寿夫*	能楽 シテ方
7	1977	山彦河良*	河東節
8	1978	杵屋佐登代*	長唄 唄方
9	1979	鶴田錦史*	薩摩琵琶
10	1980	町田佳聲* 福原百之助*	邦楽研究評論 長唄 囃子笛方
11	1981	太田里子*	地歌 箏曲
12	1982	今藤長十郎*	長唄 三味線
13	1983	都 一中*	一中節 三味線
14	1984	常磐津文字兵衛	常磐津節 三味線
15	1985	浅川玉兎* 竹本住大夫	長唄研究 義太夫節太夫
16	1986	杵屋五三郎	長唄 三味線
17	1987	中田博之*	箏曲
18	1988	平井澄子*	現代邦楽
19	1989	米川敏子*	箏曲
20	1990	日本音楽集団	現代邦楽創造グループ
21	1991	尺八三本会	尺八
22	1992	宮田哲男	長唄 唄方
23	1993	一噌幸政*	能楽笛方
24	1994	都一いき*	一中節
25	1995	藤井久仁江*	地歌 箏曲
26	1996	竹本駒之助	女流義太夫
27	1997	芝 祐靖	雅楽
28	1998	観世榮夫*	能楽 シテ方
29	1999	鶴澤清治	文楽 三味線方
30	2000	田島佳子*	長唄 三味線方
31	2001	山本東次郎	大蔵流狂言
32	2002	川瀬白秋	箏曲 胡弓
33	2003	大和久満	大和楽 三味線方
34	2004	米川裕枝	箏曲
35	2005	味見 亨	長唄 三味線方
36	2006	野坂恵子	箏曲
37	2007	横道萬里雄*	楽劇評論
38	2008	今藤政太郎	長唄 三味線方
39	2009	藤舎呂船	邦楽囃子
40	2010	近藤乾之助	能楽 宝生流 シテ方
41	2011	豊竹咲大夫	文楽義太夫節太夫

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	江藤俊哉 *	ヴァイオリン
2	1972	朝比奈 隆 *	指揮
3	1973	東京室内歌劇場	オペラ
4	1974	巖本真理弦楽四重奏団 *	室内楽
5	1975	小澤征爾	指揮
6	1976	鈴木鎮一 *	音楽教育
7	1977	園田高弘 *	ピアノ
8	1978	音楽之友社	音楽総合出版
9	1979	小林道夫	チェンバロ
10	1980	二期会	声楽研究・オペラ公演
11	1981	武満 徹 *	作曲
12	1982	渡辺暁雄 *	指揮
13	1983	札幌交響楽団	オーケストラ
14	1984	野村光一 *	音楽評論
15	1985	東 敦子 *	ソプラノ
16	1986	藤原歌劇団	オペラ
17	1987	堤 剛	チェロ
18	1988	アンリエット・ピュイグ＝ロジエ *	ピアノ
19	1989	吉田雅夫 *	フルート
20	1990	三善 晃	作曲
21	1991	若杉 弘 *	指揮
22	1992	中澤 桂	ソプラノ
23	1993	和波孝禧	ヴァイオリン
24	1994	松村禎三 *	作曲
25	1995	今井信子	ヴィオラ
26	1996	秋山和慶と東京交響楽団	
27	1997	畑中良輔	バリトン・音楽評論
28	1998	松本美和子	ソプラノ
29	1999	鈴木雅明とバッハ・コレギウム・ジャパン	
30	2000	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス	
31	2001	西村 朗	作曲
32	2002	海老彰子	ピアノ
33	2003	福井 敬	テノール
34	2004	小栗まち絵	ヴァイオリン
35	2005	中村紘子	ピアノ
36	2006	モーツァルト劇場(主宰:高橋英郎)	オペラ
37	2007	前橋汀子	ヴァイオリン
38	2008	ゲルハルト・ボッセ *	指揮
39	2009	大野和士	指揮
40	2010	田中信昭	合唱指揮
41	2011	公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団	オーケストラ

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門奨励賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1989	吉野直子	ハーブ
2	1990	漆原朝子	ヴァイオリン
3	1991	長谷川陽子	チェロ
4	1992	佐久間由美子	フルート
5	1993	仲道郁代	ピアノ
6	1994	錦織 健	テノール
7	1995	千住真理子	ヴァイオリン
8	1996	高橋薫子	ソプラノ
9	1997	樫本大進	ヴァイオリン
10	1998	若林 顕	ピアノ
11	1999	佐野成宏	テノール
12	2000	横山幸雄	ピアノ
13	2001	森 悠子主宰長岡京室内アンサンブル	
14	2002	矢崎彦太郎	指揮
15	2003	川田知子	ヴァイオリン
16	2004	斉田正子	ソプラノ
17	2005	渡辺玲子	ヴァイオリン
18	2006	篠崎和子	ハーブ
19	2007	藤村実穂子	メゾソプラノ
20	2008	幸田浩子	ソプラノ
21	2009	趙 静	チェロ
22	2010	藤倉大	作曲
23	2011	粟國淳	オペラ演出

(敬称略)